

復興のトッパーナー女川町で希望を奏でる『リアスの詩』
(被災中小企業施設・設備整備支援事業)
有限会社マルキチ阿部商店

事業概要

当社は、昭和10年に創業し、女川町で手作りの「昆布巻き」を中心に製造・販売を行ってまいりました。地元の三陸沖は国内有数のさんまの漁場として全国的に知名度が高く、女川港で水揚げされるさんまと宮城県産の昆布を使用し、一本ずつ丁寧に手作りする当社の看板商品「さんまの昆布巻き『リアスの詩』」は、独自の伝統しょうゆダレで、煮くずれしないようにじっくりと時間をかけて炊き上げることで、昆布のうまみ、タレのうまみを魚にしっかりと染み込ませています。手作りだからこそ「味染み」、「とろけるような食感」、「素材を活かした風味」が実現でき、女川港で水揚げされる素材を活かす老舗伝統の技により、『リアスの詩』は宮城県水産加工品品評会において「農林水産大臣賞」を受賞しました。

その後も堅実に事業を推進してきましたが、東日本大震災で女川町鷺神浜にあった本社工場は激しい津波に遭い、工場施設、機械設備、原材料の全てを一瞬にして失ってしまいました。本社工場があった場所は災害危険区域に指定され、その結果、移転は避けられず、平成26年6月に女川町宮ヶ崎へと本社工場を移転しました。工場の建設と設備は、国のグループ補助金とともに、[被災中小企業施設・設備整備支援事業](#)を活用して、復旧を果たしました。

また、当社代表（四代目）は震災以降、女川町の次世代を担う存在として、女川町復幸祭実行委員長や、復幸まちづくり女川合同会社の役員を務めるなど、女川町の再生とまちづくりにも尽力しています。

企業の声

機構の支援メニューを活用したことで、資金面はもちろんのこと、再び会社を立ち上げられるという気持ちの部分でも非常に良いキッカケとなり、また、支えとなりました。今後も、引き続き女川の復興と発展に貢献したいと思います。

企業概要

代表者 : 代表取締役 阿部 淳
住 所 : 牡鹿郡女川町宮ヶ崎字宮ヶ崎4-24
電 話 : 0225-53-2505
E-mail : info@kobumaki.jp
URL : http://www.kobumaki.jp
従業員 : 12名
業 種 : 食料品製造業
主要製品 : 昆布巻き（さんま、鮭、あなご）など



[本社工場]



[リアスの詩/さんま]

[被災中小企業施設・設備整備支援事業](#)は、グループ補助金等の認定を受け、復旧・復興を目指す中小企業者の方等に対し、復旧資金の無利子貸付を行う事業です。